

# デルファイ法を用いた地域健康問題の把握に関する研究

地域医療総合医学講座 寺田豊、宮田靖志、山本和利  
 町立厚岸病院 佐々木暢彦

家庭医・総合診療医として地域医療に従事する際、地域での医療ニーズを把握しコミュニティ全体の健康管理を視野に入れて活動していくことが地域医療実践には求められる。その手法のひとつとして、デルファイ法による健康問題の把握は有用なものである。我々はこの方法の実践応用、得られた結果によるコミュニティのエンパワメントの方法確立の研究を実施しており、その成果が蓄積されてきている。今後このアクションリサーチを北海道の各地の地域医療現場に応用していく計画である。

## 研究の背景

- ・地域医療に従事する家庭医・総合診療医において、地域住民の健康ニーズを把握することは重要である
- ・デルファイ法は、健康ニーズを把握する質的調査法として有効であることが秋かとなっている。(Defining the concept of primary care in South Korea using a Delphi method. Fam Med. 2007)
- ・デルファイ法を用いて北海道・道東地区の厚岸町地域住民の健康問題、健康ニーズを抽出する試みを実施し、デルファイ法の地域医療における有用性の検証を試みる。

## デルファイ法とは

- ・専門家が(アンケートなどにより)それぞれ独自に意見を出し合う
- ・相互参照を行って再び意見を出し合う、という作業を数回行い意見を収束させていく
- ・専門家間のコンフリクトが防げる
- ・ニーズ調査や将来起こりうる事象に関する予測によく用いられる

## 厚岸町におけるデルファイ法による健康問題の把握の実際

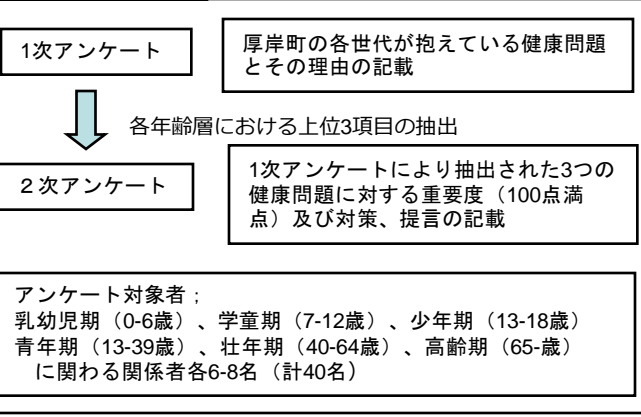
### 厚岸町とは

北海道の東南部に位置し、東に厚岸郡浜中町、北に川上郡標茶町、西に釧路郡釧路町南は厚岸湾厚岸湖とつながり太平洋に面する

東西35km、南北45km、総面積は約735km<sup>2</sup>  
 昆布漁を主とする点在する漁村  
 北部の丘陵地には広大な酪農地  
 人口11,410人(世帯数4,474世帯)  
 男5,453人  
 女5,957人



## アンケート調査法



## アンケート対象者の選定

- 乳幼児期(0-6歳)  
 小児科医師、看護師、保育園長、幼稚園教諭、保健師
- 学童期(7-12)  
 小児科医師、看護師、小学校教師
- 少年期(13-18)  
 小児科医師、看護師、中学校教師
- 青年期(13-39)  
 内科医師、看護師、漁業組合、農協、町職員
- 壮年期(40-64)  
 内科医師、看護師、町職員
- 高齢期(65-)  
 老健担当医、看護師、老健施設職員、介護士

## 2次アンケート結果

順位	重要度	年代	年代ごとの健康上の問題
1	91	高齢期	かかりつけ医が不在(病気が進行してか)
2	89	少年期	生活リズムの乱れ
3	84	高齢期	介護の問題がある(老老介護など)
4	84	高齢期	整形外科的疾患が多く足腰に障害を持つ
5	82	乳幼児期	朝食を食べないなどの食事、生活習慣の
6	81	少年期	食生活の問題(栄養のバランス、肥満の
7	79	学童期	肥満傾向があり食生活の乱れがある
8	78	壮年期	検診で異常指摘される人も多い
9	74	学童期	アレルギー疾患が多い
10	74	壮年期	運動不足による肥満、健康に対する意識

順位	重要度	年代	対策
1	91	高齢期	診療体制、自治会の役割、家庭訪問
2	89	少年期	中断を防ぐ、啓蒙活動
3	84	高齢期	制度利用の手だて、自治会、サオ
4	84	高齢期	予防、早期発見、リハのとりにくみ
5	82	乳幼児期	講座、栄養指導、両親の指導
6	81	少年期	保護者への勉強会、啓蒙活動
7	79	学童期	朝方生活の奨励
8	78	壮年期	動機づけ
9	74	学童期	継続治療、啓蒙教育
10	74	壮年期	職場での取り組み

- (1) 高齢期のかかりつけ医が不在
- (2) 少年期の生活リズムの乱れ
- (3) 高齢期の介護問題
- (4) 高齢期の整形外科的問題

⇒ **高齢期、少年期に集中**

親と子供の生活リズムの相違  
 \* 主要産業が農業と漁業であるため、生活時間が異なっている  
 ⇒ "箱買い"による食生活の乱れ  
 (ジュースなどを箱で買って子供に与える)

## 今後の課題と計画

- 1) 今回の調査結果をもとに各組織間の連携強化
- 2) 地域の医療、福祉資源(assets)の抽出の必要性
- 3) デルファイ法による地域のエンパワメントの推進
- 4) 問題解決の方策の検討